



丹後市民局＜月例展示＞

水分補給忘れず、木陰で一休み、熱中症対策万全に！

丹後小学校の力作



近畿地方では平年、7月19日ごろが梅雨明けとのこと、梅雨が明けたような暑さが続いたり、大雨が続いたりとは今年も安定しない気象状況が続いておりましたが、昨年より5日遅く梅雨が明けたと報道されました。



プールで楽しむ子どもたちのはしゃぐ声は、夏が来たかと実感させられる。しかし、そんな悠長なことを言っていられないこの暑さ。熱中症特別警戒アラートによる判断の下、子どもたちの活動が制限されます。危険を孕む気温の上昇は、自然界にも大きく影響し、生育不良の夏野菜を生む。陽の光を浴びて成長するはずの野菜が・・・暑さ対策がこれほど必要になってくるとは、ひと昔前には予想できたであろうか。



園庭の夏野菜の生育状況をチェックする園児たち 介

5年生合同授業 お魚教室（6月25日 丹後地域公民館）

魚、捌きました！ 作業をしながら段取りを覚える。何事も下準備をし、手順を習得する。

調理がしやすいように、合理的に行うには最初に何をどうするのか、それが終われば、あとどんなことをするのか・・・「ああすれば、こうなるのか、あんなふうにならないように、注意しておこう」等を肝に銘じる。ポイントがわかり、コツを身に付けると不安が解消され、見通しをもち余裕をもって作業ができるようになる。身体が覚えると言われることのひとつでしょうね。子どもの頃に覚えた技は、大人になると、「昔取った杵柄」といって自然に体が動き、感をたよりに事を成し遂げる。習得したものは、荷物になりません、大切な宝物の一つなのだ！

今年もお世話になりました。有難うございました。

＜京都府漁業協同組合丹後支所中浜婦人部の皆様＞



初めて包丁を手にして、魚を捌く子どもたちもいましたが、要領をわかりやすく教えていただきましたので、時間とともに上達していきました。できなかったことが思い通りに包丁が扱えるようになると、自信に満ちた子どもたちの表情が見られました。



【小学校学習指導要領一部抜粋 家庭】

目標：家庭生活を大切にする心情を育み、家庭や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。
調理の基礎・・・知識及び技能を身に付けること

- 調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画についてりかいすること。
- 調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び加熱用調理器具の安全な取扱いについて理解し、適切に使用できること。
- 材料に適したゆで方、炒め方を理解し、適切にできること。

★「お魚教室」で学んだことは、家庭生活や今後の自分自身の生活に大いに役立つでしょう。

令和6年度 夏の大会始まる

中学3年生の集大成となる丹後ブロック総合体育大会、13日には「陸上競技（10校出場）」が、京丹後はごろも陸上競技場で開催されました。“より速く、より高く、より遠く”をめざして選手たちが健闘しました。その他、各会場で行われた競技の結果は下記のとおりです。

◆大会結果

*陸上競技 京丹後はごろも競技場

団体 総合6位（男子6位、女子6位）

個人 3年男子400m 52秒13 大会新記録 第1位 給田 洸雅



*ソフトボール 宮津市民グラウンド 9-14（対 峰山）●

*バレーボール 弥栄社会体育館 2-0（対 加悦）○

0-2（対 峰山・弥栄）●

*バスケットボール 宮津市民体育館 67-79（対 宮津）●

*卓球 大宮社会体育館

団体 0-3（対 加悦）●、1-3（対 峰山）●、0-3（対 大宮）●

個人 ベスト16 永美 春香、西村 さくら、吉岡 嵩馬

心身共に大きく成長する時期に行う部活動は、同学年だけでなく異年齢の生徒や教師等の間で、体力や技術の向上を図る以外にも良好な人間関係を築き、責任感や、連帯感等を学ぶ貴重な場として教育的な意義もあります。

丹後学園では教科学習とともに様々な活動の中で「ことばで伝え合うこと」「相手を思いやること」を大切にしています。部活動やその他の活動の場で、他者とつながる力をつけるには、〇期（5歳児）で体験してきたことが、Ⅰ期（小1～小4）、Ⅱ期（小5～中1）で受け継がれ、仲間意識が生まれ、Ⅲ期（中2～中3）では、自分の意見を主張することや異なる意見に対しても相手の良さを見い出し、折り合いをつけることができるよう指導、支援を進めていくことが重要と考えます。

日々の遊びや教育活動や

こども同士のやりとりを通して

<他者とつながる力>をつけるために、丹後学園でそれぞれの時期にめざしていること！

〇期

- ・子ども同士が思いを共有したり、共通の目的を実現する。

Ⅰ期

- ・相手のことを理解する。
- ・相手の異なる意見も聞く。

Ⅱ期

- ・謙虚な気持ちをもつ。
- ・相手の異なる意見や立場を理解する。

Ⅲ期

- ・相手の個性や立場を尊重する。
- ・自他の権利を大切にし、義務を果たす。



保幼小中で培ったコミュニケーション能力が仲間と協力し、達成感を味わわせる。体験したことが、次のステージに進む意欲をかき立て、目標達成までの見通しをもたせる。そして、重ねた努力が、やがて実を結び、自信をもたせるよう力を注ぎます。就学前から中学校卒業までの10年間を一貫性・連続性のある教育活動を進めていきます。

丹後学園保幼小中一貫教育

■保護者、地域の皆様のご理解、ご協力のおかげで、1学期を終えました。有難うございました。2学期（8月27日）からもどうぞよろしくお願いいたします。